

ちょっと無理して
地域を元気に
地球を元気に

Vol.1



家庭や事業所から出る段ボールを回収するパッカー車

SK GROUP



【SKグループ】仙台市出身の藤原孝三氏が1973年12月に古紙回収業「斎孝」を創業（社名は自身の氏名から。2008年に社名を「サイコー」の表記に変更）。廃棄物管理のコーディネートや再生資源卸売を営むSKトレーディング（青葉区）を09年に、古紙リサイクルステーションを運営するステップスナイン（宮城野区）を15年に設立。20年に、各社のリソースを活用した新規事業創出や人材採用を担うSKホールディングス（青葉区）を立ち上げ、グループ化した。SKグループの売上高（24年度末）は98億6000万円の見込み。従業員数（24年度）の内訳はサイコー198人、SKトレーディング35人、ステップスナイン25人、SKホールディングス17人。

社員の幸せ 飛躍の礎に

発想・価値創出へ 新たな拠点

廃棄物処理業やリサイクル業を展開するSKグループ（仙台市）が飛躍の時を迎えている。1973年の創業時から事業活動と地域貢献を両輪で回し、顧客ニーズや生活様式の変化に呼応しながら、年間売上高約100億円目前の企業グループへと躍進した。グループのコンセプトは「ちょっと無理して 地域を元気に 地球を元気に」。他企業との共創や社会課題解決にも力を注ぎ、新たな価値を生み出し続ける。（3回続き）

持続可能な働き方を 実現する新「ベース」

仙台市沿岸部の蒲生地区で、銀色のスタイリッシュな建物が目を引く。2024年12月に開設した拠点「仙台港ベース」だ。



開放的な空間が広がる仙台港ベース

木のテーブルや椅子、観葉植物が配置され、カジュアルな服装の社員が自由な場所でパソコンに向かう。現場作業員らが泥の付いた靴でも気兼ねなく入れるよう、床はコンクリートの打ちっ放しにしたほか、たき

火のスペースも備える。SKグループの祖業の古紙回収を行うサイコー（宮城野区）の服部泰子社長は「社員が経営方針『しあわせ、ゆとり、豊かさ』を感じられる空間にしたい。心に余裕があれば、笑顔で生き生きと働くことができるし、困っている人にも優しくできる」と話す。

SKグループは「ロフィス」構想に基づき仙台港ベースを整備した。ロフィスは、健康で持続可能な生活様式を意味する「ロハス」と、「オフィス」を組み合わせた造語。

席はフリーアドレス制を採用し、毎日異なる人と隣り合うことで、部署や企業の垣根を超えた交流が生まれる。固定観念にとらわれず、多様な視点が交わることで、新たな発想や価値の創出にもつながることが期待されている。

「人」を強みに 利便性も一層追求

サイコーが「地域社会の課題解決を共創するグループ」へと進化を目指し、4社のグループ体制に移行したのは20年。創業から間もない時期に一桁だった従業員数は300人近くまで増え、人材の多様化が進む。

グループの技術や知見を掛け合わせたビジネスの一つが、法人向けの不用品片付けサービス「すてっちゃん」だ。見積もりから支払いまでの手続きがウェブ上で簡

単にできるのが特長。23年のサービス開始後、地方企業の人手不足や非対面型営業の浸透などを背景に利用実績を積み重ねている。社員の幸せを第一に考える環境づくりがグループの成長を支える一方、品質の高さだけでは顧客に選ばれない時代になりつつある。服部社長は「サイコーの強みは『人』。元氣な挨拶、丁寧な対応といった基本姿勢を大切にしている社風は絶対にぶれてはいけない」と力を込める。人々の暮らしをより豊かにするエコシステムの実現に向け「長年培ってきた信用を基盤に、今後は利便性の追求にも一層注力したい」と展望する。

オフィスの不用品片付けがスマートにできるWEBサービス。ちゃちゃっと予約、ちゃんと捨てる。面倒なお悩みやタスクはお任せを！



産業廃棄物を片付けようとする、見積もり・契約書作成・コンプライアンス管理などお悩みやタスクがいっぱい！「すてっちゃん」なら、WEB上で簡単に料金や回収日程の調整、書類作成や請求管理まで安心して完結することができます。産業廃棄物の回収は「すてっちゃん」におまかせください。※詳しくは、左記の二次元コードからご覧ください。



サイコーの 服部 泰子 代表取締役社長

勝手に

明日3月15日は「サイコー」の日

SKグループの新規事業①

不用品片付けがスマートにできるサービス



steccha.com



saikoh.com